サービス情報(コンクリートポンプ車)

2004/9
SV-1-0001

株式会社　大一テクノ

コンクリートポンプ車の定期点検について

コンクリートポンプ車における労働災害及び機械の故障を未然に防ぐためには、労働安全衛生法にも定められておりますが、定期的に年次検査・月例検査・作業開始前点検を行い、不具合箇所の早期発見及び適正な補修をする事が必要となります。
添付資料(点検表＊)を基に月例検査・作業開始前点検をおこない、3年間保存してください。
又、定期検査項目・点検箇所の例を次の通りご案内いたします。
＊点検表はコンクリートポンプ車　取扱説明書にも添付してあります。

①　ボルト脱落の有無についての点検箇所(例)

■各ブーム連結部取付けボルトの緩み、脱落の有無について

[点検時期]
・作業開始前点検・月例検査・年次検査毎

[ボルトの緩み、折損、脱落発見時の処置]
・ボルトの緩み発見時　　　　:規定トルクまで増締め、又はボルトの交換
・ボルトの折損、脱落発見時　:一本でもボルトの折損、脱落が発見された場合はボルトの全数交換
:ブーム部の亀裂・変形の有無、支点ピンの磨耗状況を再点検する

＊ボルト　　　　・・・10．9(11T)の高力ボルトを使用
＊規定締付トルク・・・43N・m～49N・m

(第1ブーム一第2ブーム回転軸部)

■ロータリージョイントストッパー取付けボルトの緩み、脱落の有無について

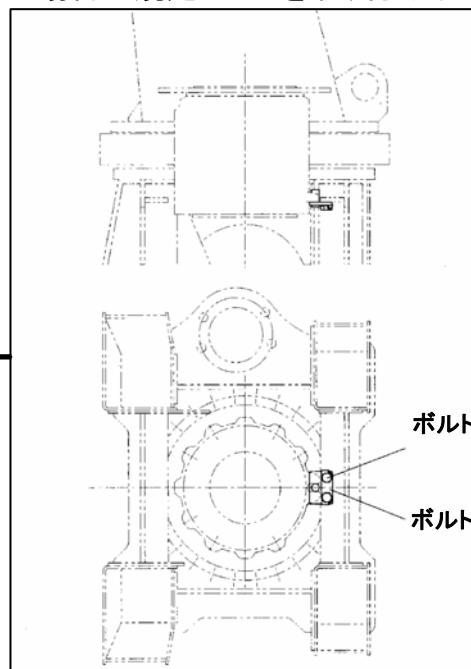
[点検時期]

・作業開始前点検・月例検査・年次検査毎

[ボルトの緩み、脱落発見時の処置]

・ボルトの緩み発見時　　　　:増締め、又はボルトの交換

・ボルト脱落発見時　　　　　:ボルトの脱落が発見された場合は規定ボルトを取り付ける

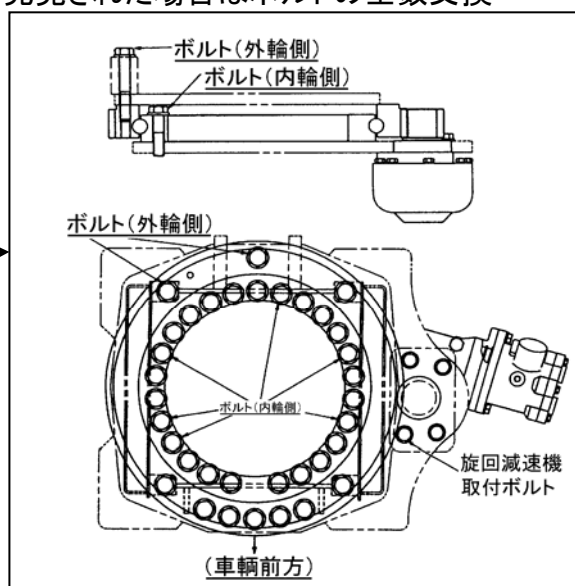
＊ボルト・・・10．9(11T)の高力ボルトを使用

■ブーム旋回ベアリング、旋回減速機取付けボルトの緩み、脱落の有無について

[点検時期]

・500時間または6ヶ月毎

[ボルトの緩み、折損、脱落発見時の処置]

・ボルトの緩み発見時　　　:規定トルクより測定値が 10%以下の場合はボルトの全数交換

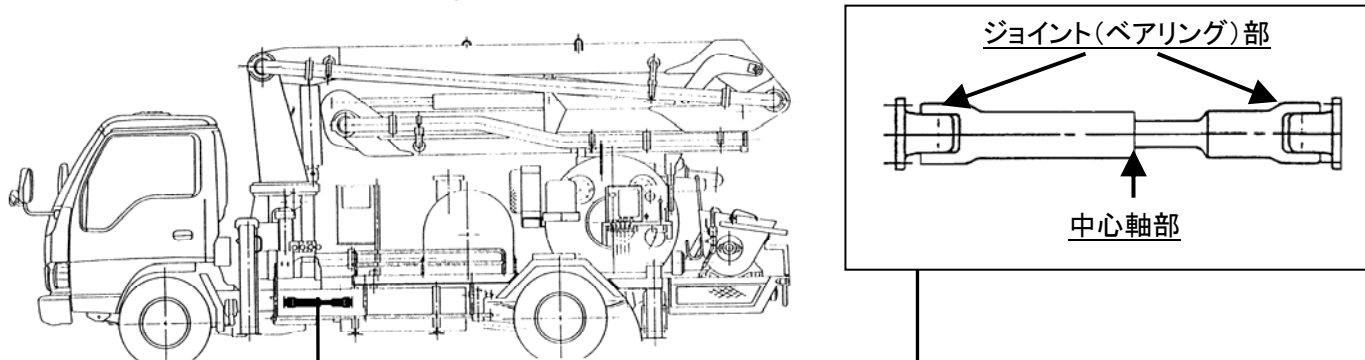
・ボルトの折損発見時　　　:一本でもボルトの折損が発見された場合はボルトの全数交換

② グリスの給油脂（例）

■プロペラシャフトの給油脂及びガタの有無について

［点検・給油脂時期］

・1週間毎

［前後ジョイント（ベアリング）部、及び中心軸部にガタがある時の処置］

・早急にプロペラシャフトを交換

＊プロペラシャフトが折損、脱落した場合、全油圧回路の動力を失い、現場作業に大きな支障をきたします。

③ 作動油・フィルターの点検、交換

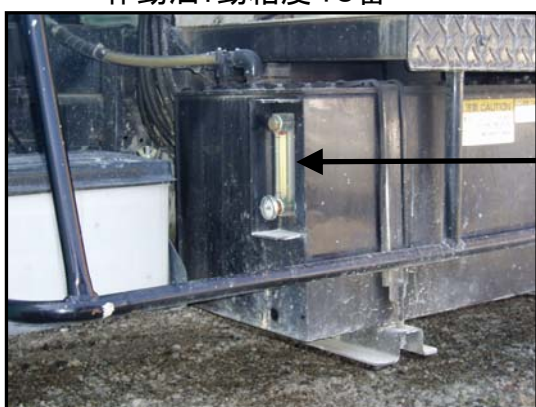
■作動油の汚染状況について

［点検・交換時期］

・6ヶ月毎

［作動油汚染時の処置］

・作動油が乳白色、黒褐色に変化している場合、早急に交換

＊作動油：動粘度46番

（汚染状況を確認）

株式会社　大一テクノ
川島サービスセンター
〒501-6025
岐阜県羽島郡川島町河田町 917 番地
TEL0586-89-3200 FAX：0586-89-2900

（３年間保存）

作業開始前点検表

点検年月日	平成　　年　　月　　日	型式		製造年月	年　　月
走行ｋｍ	ｋｍ	製造番号		点検者	

	検査箇所	検査内容	結果	処置	備考
１	エンジンオイル	油量・汚れ・油漏れ			
２	冷却水	液量・油漏れ			
３	バッテリー	液量・油漏れ			
４	タイヤ	空気圧・溝の深さ			
５	走行・駐車ブレーキ	作動の良否			
６	クラッチ	作動の良否			
７	計器類	作動の良否			
８	前照灯・尾灯・方向指示機	作動の良否			
９	各ブーム	曲り・ねじれ・亀裂・損傷			
１０	アウトリガ・ロックピン	作動の良否			
１１	各油圧シリンダ	油漏れ・保持力			
１２	マニュアルコントロールレバー	作動の良否			
１３	コンクリート輸送管・ホース類	磨耗状態の良否			
１４	安全ワイヤー	取付け状態の良否・損傷			
１５	ポンピングチューブ	チューブ内外磨耗・グリス塗布			
１６	各ローラー・ロータ	作動の良否・給脂			
１７	ポンピングチューブの遊び	適切であるか			
１８	ホッパかくはん軸	作動の良否・グリス給脂			
１９	ホッパスクリーン	取付け良否・損傷			
２０	作動油タンク	油量・汚れ・油漏れ			
２１	オイルクーラー	作動の良否			
２２	水ポンプ	作動の良否			
２３	ＰＴＯプロペラシャフト	取付け良否・給脂			
２４	ラジコン装置	作動の良否			
特記事項					

記入事項

① 検査内容の項目は、異常なものについて○で囲む。

② 結果、処置欄には下記記号に従って記入しなさい。

記号：良；レ　調整；Ａ　締付；Ｔ　分解；Ｗ　修理；△　交換；Ｘ　補充；Ｌ　清掃：Ｃ

（表を参考にし、コピーしてご利用ください）

（３年間保存）

定期自主検査表（月例検査）－１

点検年月日	平成　　年　　月　　日	型式		製造年月	年　　月
車番		走行ｋｍ	ｋｍ	製造番号	
点検者					

		検査箇所	検査内容	結果	処置	備考
車両部	１	エンジンオイル	毎月交換			
	２	ミッション・ＰＴＯオイル	６ヶ月毎交換（毎回交換日　　年　月　日）			
	３	冷却水	液量・油漏れ			
	４	バッテリー	液量・油漏れ			
	５	タイヤ	空気圧・溝の深さ			
	６	走行・駐車ブレーキ	作動の良否			
	７	ＰＴＯ切り替えレバー	作動の良否			
	８	クラッチ	作動の良否			
	９	計器類	作動の良否			
	１０	前照灯・尾灯・方向指示機	作動の良否			
	１１	ホーン	作動の良否			
	１２					
ブーム部	１３	旋回台・架台	作動の良否・ボルトナット緩み・異音			
	１４	第１ブーム	曲り・亀裂・損傷			
	１５	第２ブーム	曲り・亀裂・損傷			
	１６	第３ブーム	曲り・亀裂・損傷			
	１７	第４ブーム	曲り・亀裂・損傷			
	１８	各ブームシリンダ	油漏れ・保持力・損傷			
	１９	フロントアウトリガ	作動の良否・油漏れ・保持力			
	２０	リヤアウトリガ	作動の良否・油漏れ・保持力			
	２１	安全チェーン	取付けの良否			
	２２	各リンク・シリンダ軸受け	給脂・ガタ・亀裂・損傷			
	２３	コントロールレバー	作動の良否・油漏れ			
	２４	安全ワイヤー	取付けの良否・損傷			
	２５	コンクリート輸送管	取付け・磨耗状態の良否			
	２６	中間ホース・先端ホース	取付け・磨耗状態の良否・損傷			
	２７					
ポンプ部	２８	メインシャフト軸受け	円滑な回転・給脂			
	２９	ポンピングチューブ	内外面の損傷・磨耗状態の良否			
	３０	ポンピングチューブ	グリス塗布・遊びの良否			
	３１	各ローラー	円滑な回転・給脂			
	３２					
	３３					

（３年間保存）

定期自主検査表（月例検査）－２

		検査箇所	検査内容	結果	処置	備考
ホッパ部	３４	かくはん軸受け	円滑な回転・給脂			
	３５	かくはん切替えレバー	作動の良否・油漏れ			
	３６	かくはん羽根	取付け・磨耗状態の良否			
	３７	かくはんチェーン	給油・伸び状態の良否			
	３８	ホッパ吐出口	取付け・磨耗状態の良否			
	３９	ホッパスクリーン	取付けの良否・損傷			
	４０					
	４１					
油圧部	４２	作動油タンク	油量・汚れ・油漏れ			
	４３	カートリッジエレメント	６ヶ月毎交換（毎回交換日　　年　月　日）			
	４４	油圧配管・ホース	亀裂・損傷・油漏れ			
	４５	オイルクーラー	作動の良否・油漏れ			
	４６	サーモスタッドスイッチ	作動の良否・油漏れ			
	４７	油圧機器（ポンプ・モーター・バルブ）	作動の良否・油漏れ・異音			
	４８					
その他	４９	ＰＴＯプロペラシャフト	給油・取付けの良否・損傷			
	５０	水ポンプ・作業灯スイッチ	作動の良否・損傷			
	５１	回転計メーター	作動の良否			
	５２	ラジコン装置	作動の良否			
	５３					
	５４					
	５５					
	５６					
特記事項						

記入事項

③ 検査内容の項目は、異常なものについて○で囲む。

④ 結果、処置欄には下記記号に従って記入しなさい。

記号：良；レ　調整；Ａ　締付；Ｔ　分解；Ｗ　修理；△　交換；Ｘ　補充；Ｌ　清掃：Ｃ

（表を参考にし、コピーしてご利用ください）